

福津から世界へ、世界から福津へ

世界遺産への道 新原・奴山古墳群の世界文化遺産登録が決定

このコーナーではこれまで、新原・奴山古墳群の世界遺産登録を願うさまざまな人の思いを掲載してきました。そんなたくさんの人たちの応援もあり、新原・奴山古墳群を含む「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群は、当初の勧告を覆し、全ての資産の世界文化遺産登録が決定しました。

特集 平成29年度予算

世界文化遺産の登録が決定した新原・奴山古墳群。増加が見込まれる来訪者に対応するため、駐車場や展望所の整備、観光関連のPR活動といったさまざまな事業が、平成29年度予算に計上されています。では、今年度の予算には、他にどんな事業があるのでしょうか。

ポーランドで行われた第41回世界遺産委員会において、日本が推薦した新原・奴山古墳群を含む「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群」の8つの資産が、全て世界文化遺産に登録されました。

イコモスの勧告では、新原・奴山古墳群を含む4つの資産を除外するという厳しい評価を受け心配していましたが、私たちが強く願ってきたとおり、全ての資産が正式に世界遺産一覧表に記載されることになりました。大変嬉しく思っています。資産価値を理解していただくための努力が報われたと感じています。

登録活動が始まって15年、これまで登録活動にご尽力いただいた専門家、文化庁・外務省をはじめとする関係者庁、県・宗像市の関係者、企業の皆さんに心から感謝申し上げます。

そして何より、長い間応援していただいた市民の皆さんをはじめ、この活動に携わっていただいた全ての方に、感謝の思いでいっぱいです。

福津市長 原崎智仁